

学校連携事業

NPO法人ふうどばんく東北 AGAIN
高橋 尚子



今回の取り組みに至った背景・課題意識

- ・学生が連携することによって、やりがいや生きがいを感じてほしい
 - ・子ども食堂のメニューを考えることで、食育の一環になる
 - ・子どもが地域活動の魅力を感じ、
今後に関わっていきたいと感じてほしい
- ・様々な背景の子どもたちがいる学校と直に繋がることで、子ども食堂のイメージアップをはかり、より身近に感じてほしい

取り組みの目的

【学校と連携した、学生や教師へのこども食堂理解促進】

【学生主体の取り組み実施を通じた、新たな担い手の育成・組織化】

【学校を巻き込む、きっかけづくりとしての、学童クラブとの連携強化】

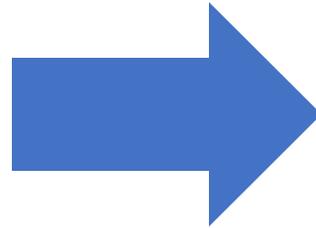
【学校内こども食堂実施による校内の居場所づくり活動】

【こども食堂がない学区で学校を活用した出張こども食堂実施を通じた学校との連携強化】

きっかけ・経緯・接点づくり

もともとの接点

- ・出前授業
- ・探求学習での事務所見学
- ・イベントのチラシの後援名義を教育委員会にもらう
- ・職場体験
- ・ボランティア体験
- ・フードロス品の配布先としての接点など



連携協力

- ・法人会員関係になっているまちづくりの中間支援団体に協力依頼(企画内容から相談)
- ・普段から連携している社会福祉協議会に連携依頼(企画内容から相談)
- ・地域の教育委員会に相談
(以前から面識のある職員に企画内容を相談)
- ・繋がりのある教員に相談
(以前から面識のある教員に企画内容から相談)

① みんなのマルシェ in ブランチ仙台 2024年10月20日



学生・教諭からの感想

- ・生徒もとても生き生きと活動していました。このような機会を与えていただき感謝いたします。
- ・この経験のおかげで生徒は一回り大きくなりました。このような機会があれば、ぜひお声がけください。
- ・一緒にフードバンクを行い、防災食や普段の食に関する啓発運動を行いたい。
(料理教室、防災レシピ開発など)

実施対象

学生(ボランティア・運営スタッフ・出演者として)
学校・教員(新しい連携の形の提案)
教育員会 (名義後援)
企業(学生との関わり方の見せ方・提案)

実施:スケジュール

2024年2月キックオフMTG
その後、毎月の打ち合わせや、各担当者への連絡、調整
学校側には企画書その他、正式の依頼文章を作成する。
10月初旬 チラシ近隣小中学校配布

実施内容:連携先

事務局共催: ブランチ仙台 協力事務局: 特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台
協力: アートワークショップ: アートインクルージョン
防災トークショー: 仙台防災リーダー菅野澄江様・富谷高校・東北学院大学・石巻好文館高校
防災キッチン: 宮城学院女子大学・泉館山高校
学生ボランティア: 仙台白百合学園・東北福祉大学・泉館山高校・宮城学院女子大学
・宮城県農業大学校
後援: 仙台市教育員会 富谷市教育委員会

②成田小学校学童クラブ ハロウィン地域のゴミ拾いと豚汁を食べる会 2024年10月24日
③成田小学校学童クラブ クリスマス会ケーキをデコレーションしてべよう！ 2024年12月24日

実施対象

成田小学童クラブ職員/成田小学校学童クラブ小学生

実施 スケジュール

2024年10月初旬 企画説明

2024年10月17日 事前打ち合わせ

成田小学童クラブがチラシや内部説明用の概要作成

2024年12月7日 事前打ち合わせ

成田小学童クラブがチラシや内部説明用の概要作成

実施内容：連携先

主催：ふうどばんく東北 AGAIN

※食品を提供したりするため、主催を運営団体が行った方が話が通りやすい

連携先：成田小学童クラブ

公立の小学校・中学校が教育委員会の管轄で敷居が高く、校長・教頭の理解がないと難しいので、民間団体が運営している学童クラブなどから広げていく

・子ども達は、あがいが大好きで、どんなことでもお手伝いしたいと思っています。毎回、役割分担なども細かくやらせてください。また、食品を提供する上で感染症なども気にする親御さんも一部いるので、調理はしない方法で開催してほしい。このような連携は頻繁に行ってほしいし、大歓迎です。

学生・教諭からの感想



④ 先生はアスリートあがいんハロウィン 2024年10月24日開催



実施対象

富谷市成田全域の親子または小学生・中学生全域
富谷高校生

実施： スケジュール

2024年5月 企画説明

10月1日 事前打ち合せ・ボランティア募集

教育委員会後名義申請

10月10日 チラシ全校配布

実施内容： 連携先

【実施内容】プロ選手による体操教室とサッカー教室
高校生や企業による縁日と地域の子どもたちのための
ハロウィン仮装大賞

連携先：元プロフットサルコーチ松木裕功さん

元オリンピック亀山耕平さん

ボランティアスタッフ：富谷高校生

後援名義：富谷市教育委員会 ※チラシ全校配布

学生・教諭からの感想

・フードバンク事業は、社会にとって欠かせない存在であると思っているので、これからも様々な形態に関わって協力していきたいと思っています。よろしくおねがいします。1回1回の活動で、学校などでは学べないことを学ぶことができます。私にも微力ながら何かお手伝いできることがあると思うので、これからも積極的に参加していきたいです。・あがいんにいる人達は皆人柄が良く、居心地がいい

⑥ 成田中職場体験 2024年11月7・8日



実施対象

富谷市成田中学校
富谷市成田中学校2年生

実施:スケジュール

5月 成田中学校より正式依頼文章にて
7月 教員と事前打ち合わせ
10月 希望生徒の情報共有

実施内容別:連携先

【職場体験内容】

ふうどばんく東北AGAINボランティア作業体験
とみやっこプレーパークのプレーリーダー体験

連携先: 富谷市成田中学校
富谷市成田中学校2年生希望生徒2名
プレーパークに遊びに来た富谷市の小学生

その後も1名ボランティア
として継続中

学生・教諭からの感想

・最初はとても緊張していましたが、事務所に入ると皆さんとてもやさしく、こんなアットホームな職場があるんだと驚きました。プレーパークは遊ぶおもちゃが沢山あり、たくさんのおもちゃが置いていて、とても楽しかったです。進路を考えるうえで、とても貴重な機会になりました。・あがいんさんで体験させていただいた、子ども食堂への支援物資の寄贈では、食べ物の大切さや、どれだけの量の食糧が余っているのかを教えてくださいました。皆さまから頂いた教えを大切に、今後の中学校生活にいかしていきたいと思っております。



⑦ 城南高校クリスマスイルミネーションと城南子ども食堂 2024年12月16日

毎年必ず出前授業へ
行き、フードドライブ活動をして
もらってます



実施対象

仙台城南高校 職員・高校生

実施：スケジュール

10月 家庭科教員へ企画趣旨説明
12月12日 事前打ち合わせ 家庭部教諭

実施内容：連携先

【実施内容】 家庭部と科学部による校内を使った城南子ども食堂開催 200食のシチューと100食のカップケーキの配布

生徒会主催のイルミネーション装飾とコンサートに卒業生のケイタキャンドル(キャンドル装飾アーティスト)のキャンドル装飾とコラボレーションさせる

【連携先】

仙台城南高校家庭科部と科学部・生徒会
(生徒・教諭) ケイタキャンドル

学生・教諭からの感想

感想：思ったよりもたくさんの人に食べてもらえたこと。イルミネーションのときにシチューを作ってみんなに提供した事。こういう活動をしていなければ、1つの商品だけであんなにもたくさんのロスが出ているということを知ることがなかった。あがいんさんの施設に行った時に見た倉庫にある食べ物の量に驚いた。

今後一緒にやりたいこと：商品開発、お菓子作り、フードバンクへの協力をお願いします。お祭りのなやつ、12月だけでなくもうちょっと頻りに子ども食堂ができればロスをもうちょっと減らせるのではないかと思います。消費期限が近い食材などを提供してもらい、料理部で調理して配ってみたい。

⑦ 子ども食堂のない地域への企画と不登校認定校との協働（2025年度実施予定）

子ども食堂のない地域への企画

【大郷町学校を利用した子ども食堂】

実施対象

大郷町学校教育課
大郷町社会福祉協議会 大郷町小学校・中学校

実施：スケジュール

2025年1月20日 大郷町社会福祉協議会へ企画説明・企画書送付
2025年1月27日 大郷町学校教育課に企画説明・企画書送付

実施内容：連携先

【実施内容】小学校・中学校が1校ずつしかないため、送迎やバス通学で登校している子がほとんど、みんなが集まる場所として学校の敷地内での子ども食堂を提案するが、開催時期が悪く、後日改めて相談。

【連携先】大郷町学校教育課
大郷町社会福祉協議会 大郷町小学校・中学校

不登校認定校との協働

実施対象

富谷市不登校認定校（西成田教室）
富谷市教育委員会

実施：スケジュール

2025年2月10日企画説明・アポイント相談
2025年3月10日校長打ち合わせ
※4月以降に実施予定

実施内容：連携先

【実施内容】富谷市に一校ある不登校の子のための少人数制の認定校で料理教室を行いながら、子ども達と交流を図る。また今後の職業体験などで逆に訪問してもらい、双方交流を図る。

【連携先】富谷市教育委員会
不登校認定校(西成田教室)校長先生・教員・生徒

取り組みの効果

いつもは、学校側から声がけいただき連携する事が多かったが、こちらからコンタクトを取り、企画提案すると、前向きに興味を持ってくださる学校が多く、さらに、予算までこちらでカバーする事を話すと、よりスムーズ事業がすすみました。

意外と、学校側教員側は待っている
※教員・生徒の探求の場を探している

学校連携で大切なこと

地道な種まき

※普段からイベントや子ども食堂のチラシを配布する

少しのつながりも
利用する

※知り合いのPTAの役員の方や自治会長など

まずはチャレンジしてみる！！



ご清聴ありがとうございました